

臨床工学技士の職域の拡大を考えるⅧ 『心臓血管外科治療と臨床工学技士』

日時：令和4年3月12日（土）12:50

場所：近畿大学生物理工学部 アリーナ（和歌山キャンパス）

方式：オンライン配信 (Zoom)

※近大生・教職員のみ一部対面

※聴講無料



【招待講演】 13:00～14:00

九州大学病院心臓血管外科学 診療准教授

園田 拓道

『いま心臓外科手術は低侵襲化の時代へ：

外科医を支える臨床工学技士の高い技術』

【特別講演Ⅰ】 14:10～15:10

社会医療法人北海道循環器病院先進医療研究所 所長

山崎 健二

(東京女子医科大学心臓血管外科学 前主任教授)

『七転八起のVAD人生』

VAD: 補助人工心臓

【特別講演Ⅱ】 15:20～16:20

医療法人誠佑記念病院 名誉院長

岡村 吉隆

(和歌山県立医科大学 前理事長・学長, 心臓血管外科学 前主任教授)

『少子・高齢化、IT化時代における彼我のためのWell-being』

IT: information technology (情報技術), Well-being: よく生きる

※聴講を希望される当学部以外の方は、お申し込みが必要です。

【対象者】 医療者・研究者・教職員・学生・高校生(保護者) ※一般不可

【申込み方法】 下記アドレスまたは二次元バーコードにアクセスし、必要事項を入力して下さい。

申し込み締切 令和4年3月5日（土）

締め切り後、視聴アドレスをご連絡いたします。

申込みアドレス：<https://forms.gle/bTxojobw39mhwxFp6>



事務局：黒田 (E-mail: negoro@waka.kindai.ac.jp)

代表幹事：古蘭 勉

講演の要旨

『いま心臓外科手術は低侵襲化の時代へ :

外科医を支える臨床工学技士の高い技術』

九州大学病院心臓血管外科学 診療准教授 園田 拓道

心臓手術は、胸部を大きく切開→人工心肺を駆動→心停止下に手術を行うため一般手術より大掛かりである。近年、小さな切開で行う低侵襲手術(MICSやTAVI、ステントグラフト手術)が普及しつつあるが、難易度の高いこの分野を支えるのは人工心肺を扱う臨床工学技士の存在である。外科医と深く連携する臨床工学技士について述べる。

MICS: 低侵襲心臓手術, TAVI: 経カテーテル的大動脈弁置換術

『七転八起のVAD人生』

社会医療法人北海道循環器病院先進医療研究所 所長 山崎 健二

国産の植込型補助人工心臓(VAD)EVAHEARTは医療機器開発の経験の全く無いベンチャーによって実用化された。考案・技術的ブレークスルーの後、1995年に事業化を前提とした本格的な開発を開始したが、その過程で何度もプロジェクト中止の危機に陥った。医療事故による所属大学の特定機能病院取消、ベンチャーの経営破綻、等の困難を経験した。様々な装置の改良・改善を行い、現在中国での臨床治験完了・薬事承認取得、米国での多施設ランダムマイズド臨床治験導入等、新たな展開が進行している。四半世紀に渡る七転八起(七転八倒?)の軌跡を聞いて下さい。

『少子・高齢化、IT化時代における彼我のためのWell-being』

医療法人誠佑記念病院 名誉院長 岡村 吉隆

医療の基本は、病気で困っている人に助けの手をさしだすことにあるが、自分に余裕がなければそれは難しい。少子高齢化とIT化で労働需給の変化が予想され、医療関係職種も例外ではない。社会の変化にうまく適応して、自身の幸せを感じながら、社会の役に立てるにはどうキャリア形成していくのがよいか、一緒に考えてみたい。

IT: information technology (情報技術), Well-being: よく生きる

講演会 視聴時のお願い

- * 当日、定員に達した場合、WEB接続ができなくなることがあります。予めご了承下さい。
- * 講演会の録画および撮影、参加申込み登録者以外への公開は固く禁じます。
- * 主催者・発表者の判断により一部資料のオンライン配信を差し控える場合がございます。